



町長室へようこそ No. 103

【本と旅する 滝上】

1月も早いもので、例年になく穏やかな正月を迎えたなと思っているうちに、瞬く間に一ヶ月が過ぎようとしています。1月行って、2月逃げて、3月去ってとは昔の人はよく言ったもので、年ごとに時の経つのが早く感ずる年齢になったのかなとも思っています。

昨年、北海道新聞12月25日の日曜版「本と旅する 滝上」が2ページにわたり、都会暮らしの若者が滝上の魅力に惹かれて移り住み、地域に根を下ろし生きいきと暮らしている様子が全道版で紹介されました。

地方創生は、日本の人口が減少に転じ、東京への一極集中を解消し、子育てのしやすい地方への人口分散・移住を図り、地方を元気にすることが解決策だと国が提唱し取り組んでいるものです。しかし、地方では50年以上も前から人口減少が始まり、いかにして過疎を止めるかと、いろいろな対策を行ってきました。滝上町の「童話村構想」も基は過疎化対策として始まったものであります。

昨年着任した道新の記者さんと地方創生の取り組みについて話す機会がありました。滝上町では、30年以上前、横浜から来た徳村さん夫妻が滝西地区の熊出の沢に「森の子どもの村」のキャンプを始め、そこに参加した多くの子どもたちの中から、後年滝上の魅力に取りつかれ移り住んだ人たちが出てきたこと、



子どもの村での
キャンプの様子

今ではかつて子どもの村でテント生活を行った子どもの2世や海外からも集うようになってきていることなど、国の地方創生の取り組みのはるか以前から、全国各地の子どもたちが熊出の森のキャンプに参加し、その中から滝上に移り住み地域に根を下ろす人たちが徐々にではあるが増えてきています。記者には滝上で地方創生・移住定住は行政の旗振りではなく、住民の地道な活動から始まっていることを情報提供したところ取材に至ったものです。新聞の効果は大きいですね。

雪をかぶったトドマツが稜線から昇る朝日に照らされる日曜版の一面を飾る写真、現代人が失いつつある野性と温かさを感じ取ることができます。それぞれがこの町の魅力なのだと思います。



(2016年12月25日 北海道新聞)

【インフルエンザ】

昨年末は道内の養鶏場で鳥インフルエンザが発生し、管内でも野鳥から検出されるなど大きな問題となりました。滝上町でも特産の七面鳥や地鶏がいますので、そちらの方を心配していたところ、不覚にも私自身がインフルエンザにかかってしまいました。国保病院の話では大人の罹患者50数人中、役場職員が4割を占めたということで、職場での感染防止を徹底するよう痛感したところです。現在、滝上では小康状態ですが全道では増加しているようです。皆さまもマスクやうがい・手洗いなど、風邪やインフルエンザにかからないようお気を付けください。

滝上町長 長屋 栄一

◇町長へのメールアドレスは tyoutyou@town.takinoue.hokkaido.jp です。

- | | | | |
|-----|----------------------------------|-----|---|
| 14日 | 滝上町交通安全協会新年会 | 18日 | (12月)
地域安全・交通安全運動ミニバレー
ボール大会 |
| 13日 | 猟友会滝上支部新年親睦会 | 19日 | 童話村を育てる会との懇談 |
| 12日 | 議会運営委員会 | 20日 | 職員採用試験(一般行政職)、工事検
定、地域懇話会 |
| 11日 | 官公署年頭挨拶回り(網走・北見方面) | 21日 | 平成28年度社会福祉法人滝上町社会
福祉協議会第2回評議員会、第2回
滝上町バイオマス利活用推進協議会 |
| 10日 | 官公署年頭挨拶回り(西紋別方面) | 22日 | 平成28年度第2回紋別地区消防組合
議会定例会(紋別市)、西紋別地区環
境衛生施設組合議会(興部町)、農業
委員会忘年会 |
| 7日 | 平成29年西北見地区郵便局長会紋別
部会新年会 | 27日 | 平成28年度援護事業功労者厚生労働
大臣表彰伝達 |
| 6日 | 昇給辞令等交付 | | |
| 5日 | 平成29年滝上消防団出初式、消防団
新年交流会 | | |
| 4日 | (1月)
平成29年新成人の集い、ケアハウス
新年会 | | |

町長の主な動向(12/16~1/15)